

平成 21 年仕事始め式 市長訓示

新年明けましておめでとうございます。

今年は、雪模様の正月となりましたが、職員の皆さんには、お健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、去年は、それぞれの部署で市政発展のために、大いにご尽力を頂き、深く敬意を表する次第であります。

さて、平成 17 年 10 月に越前市が誕生して、早いもので 3 年 3 ヶ月が経過し、初代市長としての私の任期も残すところ 1 年足らずとなってまいりました。

私は、市長に就任以来、住民相互の融和と、旧市町の一体感の醸成を第一に、「三位一体の改革」に伴う地方自治体の厳しい財政状況を踏まえ、本市の将来像である「元気な自立都市 越前」の創造に向け、「まちづくりの 5 本の柱」に基づく施策の推進に全力を傾注してまいりました。

また、政治信条である「現地現場主義」をモットーに、市内各地をできる限り訪問し、「地域ミーティング」や「夢・まちづくりトーク」を開催するなど、市民との対話を重視し、市民の目線に立った市政運営を、職員の皆さんと一丸となって進めてまいりました。

去年は、本市の基本理念である「協働」を推進するため、「協働ガイドライン」を策定するなど、「協働元年」と位置付けた年に相応しく、数多くの取組みを市民との協働により行ってまいりました。

例えば、本市に所縁の深い紫式部により描かれた源氏物語が記録の上で確認されて一千年を迎えたことから、恒例の「たけふ菊人形」のテーマを「源氏物語」にするとともに、武生公会堂記念館で 5 回シリーズの特別企画展を開催するなど、「源氏物語千年紀事業」を官民一体となって推進しました。

この他にも、「食と農の創造ビジョン」の策定に着手したこと、「学校施設耐震化推進計画」の計画期間を 2 年前倒しする

など、学校の耐震化を積極的に推進したこと、里地里山の保全再生に熱心に取り組む関係者が全国から集い、坂口地区を中心に本市で全国フォーラムを開催したこと、住民団体の積極的な取り組みを受け、市議会での真摯な議論を踏まえ、福井鉄道福武線の存続に向けた支援スキームがようやく始動したこと、2万5千人もの住民の参加を得て、本市初の「総合震災訓練」を実施したこと、多目的ダムから治水ダムに計画変更した吉野瀬川ダムの事業継続が来年度の政府予算案に位置付けられたことなど、様々な取り組みを市民との協働により推進することができました。

その成果の一つとして、昨年11月29日には「交通死亡事故ゼロ500日」を達成するなど、お蔭様で着実に市政の推進を図ることができた1年であったと考えています。

これも偏に、職員の皆さんや市議会、各地区、各種団体など、多くの皆さんのご尽力、ご協力のお陰と、深く感謝申し上げます。

本年は、昨年秋のアメリカでの金融危機に端を発した世界的な景気後退により、好調であった本市の経済・雇用情勢も一気に冷え込み、雇用不安や生活不安が増大していることから、産業の振興と雇用の安定に全力で取り組み、市民が安心して暮らせる越前市を築いていく1年としなければなりません。

国や県の対策と整合を図りながら、経済・雇用対策を積極的に推進するとともに、離職者や生活困窮者への支援に向け、関係機関と一体となった相談体制の構築や生活支援の実施に取り組んでまいります。

そのためにも、「地域福祉計画」など、今年度に策定する福祉の諸計画の着実な推進に努めることが肝要と考えています。

また、全国的にも先進的な取り組みである「食と農の創造条例」の制定や、本市の人づくりの方針を示す「教育振興ビジョン」の策定を進めてまいりたいと考えています。

さらには、昨年に引き続き、中心市街地の活性化や定住化の促進にも力を注いでまいります。

加えて、地球温暖化対策の一環として、春にはレジ袋の有料化を開始するとともに、秋にも発売される電気自動車を公

用車に導入するなど、環境対策にも積極的に取り組んでまいります。

世界的な景気後退に伴い、地方自治体を取り巻く環境はさらに厳しさを増していることから、本年も「行財政構造改革プログラム」に基づき、健全な財政運営と行政改革の推進に努め、「自立」と「協働」を基本理念とする「総合計画」の着実な推進を図り、「元気な自立都市 越前」の創造を目指して、全力で市政運営にあたってまいります決意であります。

しかし、あらゆる改革や政策の根底には、人間ひとり一人を尊重し、自然との共生を図る、崇高な価値観や哲学が不可欠であり、近年の倫理観を失ったマネーゲームの横行や効率主義の蔓延は、やや行き過ぎの感を否めず、本市においては、先ほど触れた通り、農業や環境、福祉や教育などの分野に独自性を発揮し、安定感と安心感のある、市民から信頼される市政を目指していきたいと考えています。

何とぞ、本年も職員の皆さんには、越前市の将来に大きな夢を描き、元気な自立都市を目指して、それぞれの部署で職務に精励されるとともに、「現地現場主義」の実践により、市民のニーズを的確に汲み取り、市民の皆さんの期待に応えて頂きますようお願いいたします。

結びに、皆さんが心身ともに健康で、市民福祉の向上のために大いに活躍されることを心から祈念して、平成21年の「仕事始め式」の訓示と致します。

本年も、よろしく申し上げます。